

分子遺伝学研究室(岡山大学理学部生物学科)で、細菌やファージを材料にして研究をします。現在は、微生物の知識や培養方法、基本的な実験技術を学んでいます。

指導教員：富永 晃 准教授

生徒：石井綾華，片岡大典，児新美恵
(Rコース3名)

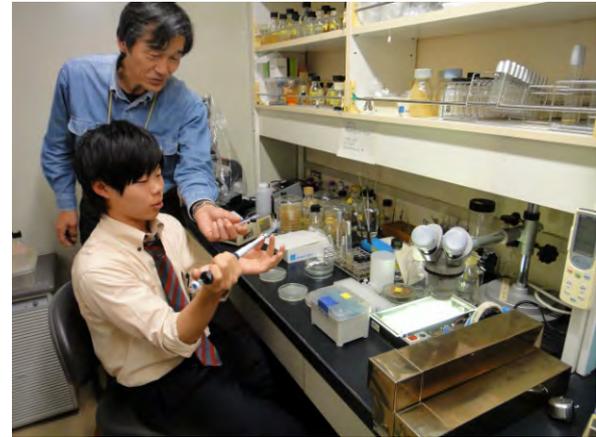


図1. 実験操作を丁寧に教えてくれたので、安心して実験できた。

1. 研究テーマ

DNAやRNAなど分子遺伝について、授業でも未だ詳しく習っていないので、細菌やファージを材料にして、身近なテーマで研究しようと考えています。5月中には研究テーマを設定する計画です。細菌の増殖を抑制する抗菌物質や、ファージのはたらきに興味を持っています。

2. 現状報告

1回目：ファージについての英文読解と自分の興味について話した。

2回目：培地の作成方法と手の付着細菌を検査した(図1)。

結果をご覧ください(図2)

3回目：抗菌剤の濃度と細菌の増殖抑制，薬剤抵抗性菌の存在の確認，ファージの培養と溶菌作用の観察実験を行った。一日後には、結果が分かるのでわくわくした。

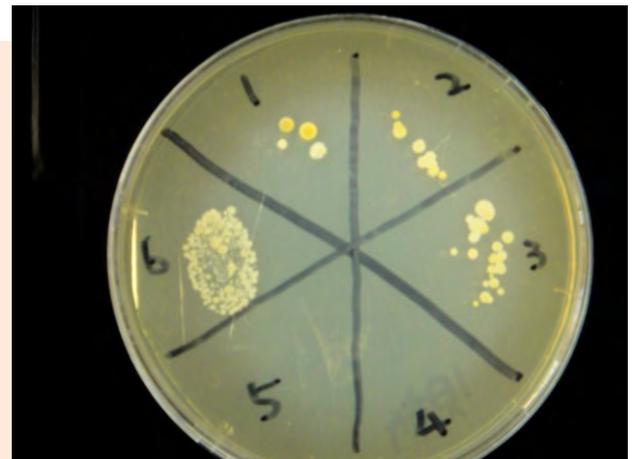


図2. 培養結果，手の付着細菌
手を洗っても落ちない細菌がいた。



図3. 実験操作，抗菌剤を濾紙に含ませて置く

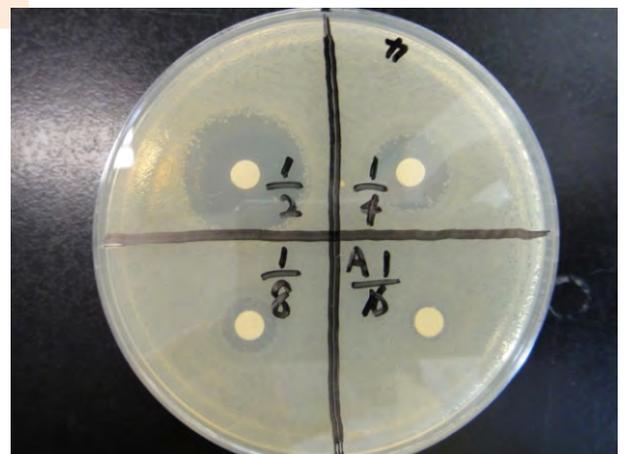


図4. 培養結果。自分で実験したので薬剤のはたらきがよく分かった。濃度が薄いと効果なし。